

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 6 年 12 月 23 日(月)18:00～19:20

場 所： 富士中央公民館

出席者： 10 人

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 懇 談

(1) 主要施策の取組状況について 資料①参照

(2) 自由懇談

4. その他

- ・資料②参照 ネイチャーポジティブの実現に向けて
- ・資料③参照 紙の保険証の発行について
- ・資料④参照 緊急告知 FM ラジオについて

5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■栗山高校の存続について

- 町 民 小学生の人数を見ても子どもたちの減り方が尋常じゃなくなっていると思うが、高校は何人くらいになると廃校になってしまうのか。
- 教 育 長 高校を維持するための新入学生数の最低ラインは 20 人。41 人以上であれば学年 2 学級を維持することができる。現在は女子野球の関係もあって 5 年くらいは生徒を確保できるだろうと見込んでいる。

■くりふとのイメージとキッチンカーの場所について

- 町 民 南側が煉瓦の状態でイメージ的に暗い感じがする。くりふとに来ているキッチンカーの場所に行ったが、あんな日陰でお客さんが買うのかなと思う。陽の当たる場所にしていけたらいいと思うが。
- 町 長 くりふとの建物自体が農協の倉庫だった。くりふとだけ単体で国の認可を受けて補助が採択されたわけではなく、駅前の全体の区域を国の土地再生整備計画という認可を受けて整備を行った。くりふとは建物なので目立ってしまうが、元町通り、栄町通など町道 9 本やそのほかにもいろいろな環境整備を行った。それらの整備も通常であれば 10 年以上かかってしまうが、2, 3 年でできた。その内のメイン事業が、くりふとだった。国から土地再生整備計画の認可を受けるためには拠点施設が必要だった。場所的に、人の集まりやすい農協の倉庫を活用するか、新しく建てるかいろいろな議論をした。結局、農協倉庫を耐震などリニューアルして事業費が約 3 億円、もう少し大きくして新しくすると 15 億円から 16 億円かかる。何もない時には、広く感じたが、DIY 工房やキッチンを作ったら多目的ホールが狭く感じる。いかに町民の皆さんをはじめ、様々な方に使っていただけるよう来場者を増やしていきたい。昨年 3 万人、今年は半年で 2 満 5 千人。去年よりはかなり上まっていくなと思う。くりやまの賑わいの拠点だと言われるようにし

たいと思っている。キッチンカーは、秋・冬だと日陰の時間帯が増えるが、キッチンカーの方にも話を聞いてみたい。

■FMくりやまの番組について

- 町 民 もう少し町民が参画する番組があればいいと思う。町の催しや行政情報を発信しているのはわかるが代り映えしなくて関心が持てないような曲や音楽が多い。もう少し何かあってもいいと思う。もう少し町民が参画すればいいと思う。
- 町 長 今は、開局したばかりで、正式7名、ボランティア8名いるが、語り口や話から音楽に切り替えていく流れだとかだいぶ良くなっていると思う。プロフェッショナルのラジオ局と比べるとまだまだかもしれないが温かく見守っていただきたい。FMくりやまの人だけでなく、多くの町民、特に子どもたちが集えて参画できるような放送局になってもらいたいと思っている。

■スポーツ少年団の活動について

- 町 民 子どもが栗山ロッキーズに所属しているが、それなりにチームが強いため全国大会などいろいろな大会に出場することができている。しかし、子どもたちの人数が減っていることもあり資金を確保することが大変になっている。栗山高校女子野球部には学生寮をつくるなど手厚いが、少年団には助成は出ているのか。
- 教 育 長 普段の活動に対しての助成はない。全道大会へ行ったり全国大会に行ったりしたときの部分はある。以前、年に3回全国大会に出場した時があったが、その時1回は、自前で募金活動をしていたこともあった。限られた基金を使っていて、いろいろな団体があるので説明をしてそのような取扱いになった。基金もかなり減っているため、今は、旅費のみを対象にして道具などは対象にしていない。委員さんの中での議論は、個人競技の道具は一切個人負担。基準を設けて団体スポーツと平等にしている。栗山高校女子野球部は、学校の存続をかけて取り組んでいる。放っておいたら廃校するしないの議論になってしまう。一般的に高校が無くなってしまうと町内の人口が4%~7%減ると言われている。町の人口減をどれだけ食い止めるかという政策の重要な柱になっている。少年団への支援と考え方は一緒にならない。
- 町 民 基金がなくなった場合どうなるのか。また基金を作るのか。今の6年生は栗山だけで10人くらい、その下が2、3人しかいない。自分の子どもは卒業するが、残された子どもたちは少ないので親御さんが大変だと思っている。栗山高校女子野球部に対しては手厚いのはわかるが、末端の子どもたちが少なくなってしまうのは続かないと思う。
- 町 長 私も栗山ロッキーズの監督を6年程やっていて、息子もやっていたので道具が高いことは理解している。基金がなくなる時には、どうするのか考えなければならない。今の子ども夢づくり基金は、スポーツだけではなく文化も含めて活動に使ってほしいといただいたご厚意がもとになっている。
- 教 育 長 子ども夢づくり基金は、このままでは5年、6年程度で底をつく。近年では、人数が減っていることもあって団体競技が厳しくなっており個人競技に集中してきている。野球やサッカーの場合は、土日に送迎できない親御さんも増えていて、団体競技に子どもを通わせられないケースも増えている。中学校の部活動加入率も激減している。

■FMくりやまを活用した子どもたちの情報発信

- 町 民 FMくりやまを使って子どもたちが生の声で、こういう少年団チームがありますよとか話をすることで、寄付や応援が増えると思うが。

- 教 育 長 中学校の先生、生徒から、番組を持たせてくれないだろうかと話が来ている。パーソナリティを固定して、小中学校、週一回、30分位生の番組を持とうかと議論が進んでいる。来年の春、夏に向けて、情報収集して番組を作っていきたいと話になっている。
- 町 民 北広島市の FM メープルでは、高校の生徒が時間帯をもらってパーソナリティをしている。
- 教 育 長 栗山高校も来年に向けて生徒会が動いている。小中高が相談しながら来年度に向けて動いている。

■マイナ保険証の登録について

- 町 民 マイナンバーカードを作ればマイナ保険証は自動的に登録されるのか。
- 住民保健課長 マイナンバーカードを作ってもマイナ保険証の登録が自動的にされるものではない。ただし、国がマイナンバーカードの交付にポイントをつけていた時に、あまり意識せずマイナ保険証の登録を済ませている方もいる。登録されているかされていないかの確認は、役場の窓口でできるので、気になる場合はお越しいただきたい。

■ごみの収集について

- 町 民 ごみは広域の施設で処理することになったが、桜山にもごみが捨てられているような話を聞いた。広域処理施設を見てみても、あまりごみが搬入されていないように見えるが。
- 環境政策課長 4月から燃やせるごみは千歳にある広域の施設で処理しており、月あたり約150トンを運んでいる。そのほかにも、これまでと同様に、共和にはペットボトル、プラスチックごみを、桜山には粗大ごみや電化製品を運んでいる。本町では、概ね午前中に収集し昼に千歳へ運んでいる。

■国道 234 号の陳情について

- 町 民 町長が国道 234 号の関係で東京へ陳情に行ったと聞いたがどういった内容なのか。
- 町 長 国道 234 の整備促進についてはこの 20 年位継続して行ってきた。その内容は、4車線化、工業団地のところからバイパス化する 2 本立てで要望してきた。なかなか国の予算が付かない中で、早期に 4 車線化されるために開発局と要望戦略を進めてきた。その競技の中で、まずは岩見沢から栗山に入るとある右折レーンのない 9 カ所の交差点を整備し、すべて完了した後につなげて 4 車線化を目指し進めていこうということになった。交差点の工事は現在 4 カ所目で栗山赤十字病院そばを進めている。要望事項からは落としていないが、バイパス化は難しさが出てきている。

■農協前の横断歩道について

- 町 民 歩道の拡幅工事がされることによって農協前の横断歩道が無くなるという話を聞いた。農協を利用する人は横断歩道を利用するので不便になるが。
- 町 長 新町通りの歩道の拡幅工事については、平成 17 年に期成会ができて 20 年かかったが、2 工区に分けて行うということで北海道と話がついている。来年から再来年に始まる予定。道路交通法の関係も考えられるが農協前の歩道については確認したい。